

# 議員団 ニュース

日本共産党平塚市議会議員団

電話 0463-23-1111 (内線 2375)

平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

No. 1370 2016年8月28日発行

## 日本共産党平塚市議会議員団

団長 高山和義

電話・fax 31-4638

k.takayama@mb.scn-net.ne.jp

渡辺敏光

電話・fax 31-6431

w-toshi@agate.plala.or.jp

松本敏子

電話・fax 59-4607

mail@matsumoto-toshiko.jp

日本共産党議員団の法律相談  
今回は9月15日(木)です。

午後4時～6時(要予約)

8月は休みます。

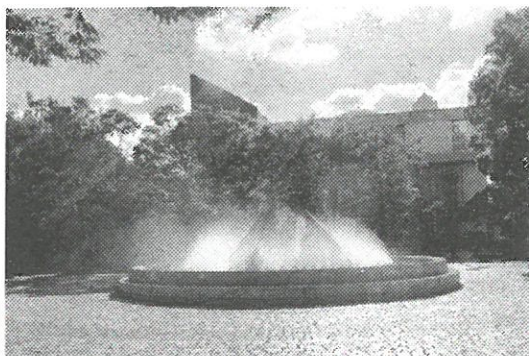
## 9月議会開会 8月26日より

8月19日、議会運営委員会が開催され、9月議会の議案および2015年度決算の認定についての資料が提示されました。

9月議会は8月26日から9月21日までの27日間とし、初日に28件の提出案件の説明が行われます。議会での決算特別委員会の設置の議決を得て、9月議会終了後の閉会中の継続審査の扱いとして審査日程が決まります。

日本共産党市議団は、今回の9月議会も2人の議員の質問(計39分)を予定しています。質問の日程は9月6・7・8・9日の4日間、午前10時から開会いたします。

また、決算特別委員会には会派3人に対し1人の委員が選出され審査が行われるため、共産党市議団からも1名選出される予定です。



涼しさを誘う文化公園の噴水

## 台風9号における市内被害状況

平塚市災害対策課は、8月22日の朝から関東を襲った台風9号による被害状況をまとめ、発表しました。

### 被害状況

人的被害 なし

道路冠水・通行止めとなった路線 5路線

## 避難対応

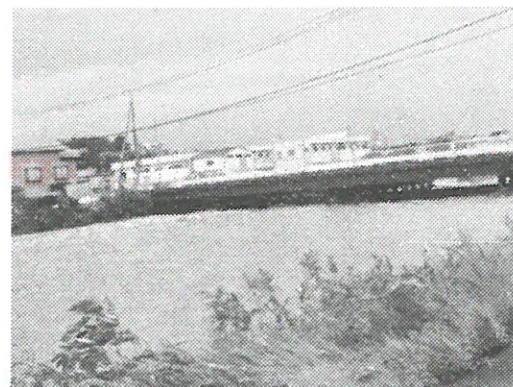
\*避難所開設総数 26カ所

\*自主避難者の受入れ 6避難所18人

\*河内川下河原橋および鈴川東橋周辺への避難勧告による受入れ4避難所34人

\*土砂災害警戒情報の発表に伴う避難勧告による受入れ 避難者なし

\*公民館への自主避難 3施設に8人



## 雨量

1時間の最大雨量は、8月22日午前9時30分～10時30分)48.0mm、総雨量は、午前5時から午後4時20分までに144mmだったと報告しています。

上の写真は橋のすぐ下まで水が来ている金目川、右上の写真は鈴川、その下が河内川下河原橋から見たものです。平塚市には相模川を初めいくつもの川が流れており、大雨のたびに浸水被害の心配が絶えません。



そのためにと浸水被害が心配される地域に土嚢ステーションが設置されましたが、「取りに行ったらもうなかった」「古い土嚢は袋が劣化して破けていた」などの声。市の担当課では時期を見計らってその都度補充しているが、1軒で10個以上必要な所もあり、すぐなくなる。家で保管する場合は、袋の劣化を防ぐ為1年に1度は土嚢の袋を取り換えてほしいといっています。

## 9月議会の後、2015年度平塚市一般会計・特別会計・病院事業会計決算の審査

18日の議会運営委員会で、2015年度の平塚市の決算資料が手渡されましたが、これから審査を行うため他市の資

料は公表されていません。今回は2014年度の決算をもとに、平塚市の財政状況を他市と比較してみました。(裏へ)

# 2014年度（平成26年度） 近隣自治体の住民一人当たりの積立金・地方債現在高等と財政指標

（平成26年度財政状況 県内近隣自治体比較 決算カードより）

## 財政を比較してみる

「いつも市はお金がない、お金がないって言うね」「本当にお金がないのかしら」「大丈夫なのかね」といった言葉がよく聞かれます。どうなのか、財政状況を見てみましょう。

財政状況を見るには、自分の住んでいる市の財政状況をまとめた「決算カード」で経年的に推移を比較する方法と、他の自治体と比較する方法があります。

今回は他の自治体と比較をしてみます。他市との比較では「近隣自治体との比較」と「類似団体との比較」があります。

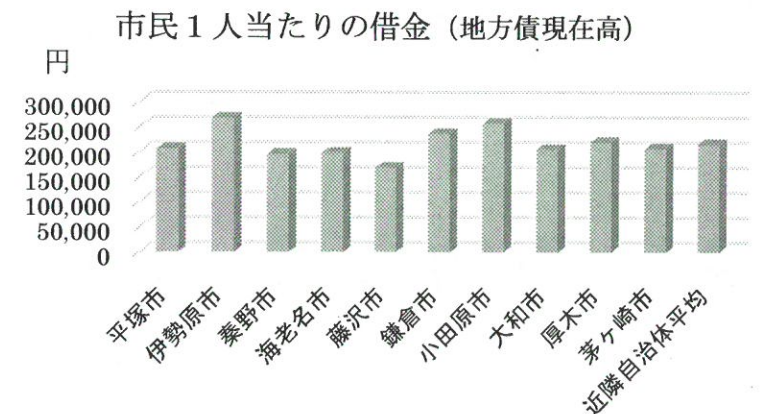
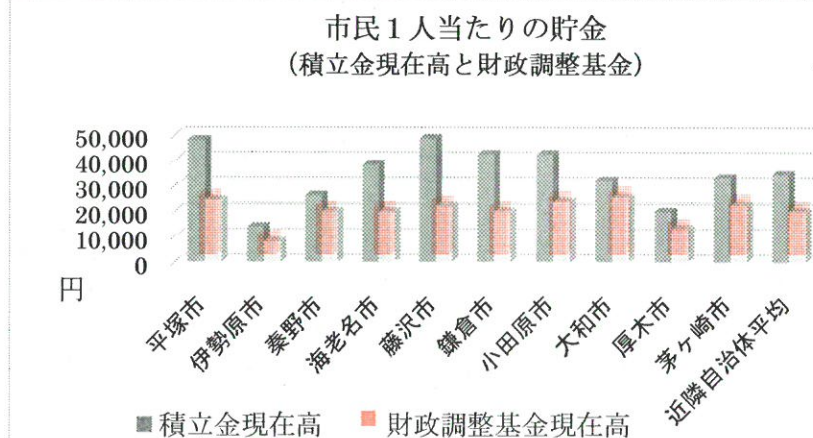
類似団体とは、国が全国の自治体を「大都市」「特定区」「中核市」「特例市」「一般市」「町村」に分類しています。平塚市は「特例市」で、県内では小田原、大和、厚木、茅ヶ崎が同じ「特例市」ですので、近隣市5市（伊勢原、秦野、海老名、藤沢、鎌倉）と類似団体4市の計9市と平塚市を比較してみます。

各自治体の積立金現在高をH27年1月1日の人口で除して1人当たりで比較すると、平塚市は藤沢市に次ぐ2位の貯金高、そして「地方債現在高」という借金は10市中少ない方から5番目です。

「翌年度以降支出予定債務負担」という今後予定している借金があります。しかし借金は赤字のために起債するのではなく、道路やまちは将来の世代も使うため、平等に負担していくために起債をし、20年、30年と返済していくのです。その額が身の丈に合っているのかの分析が必要です。

単位：円

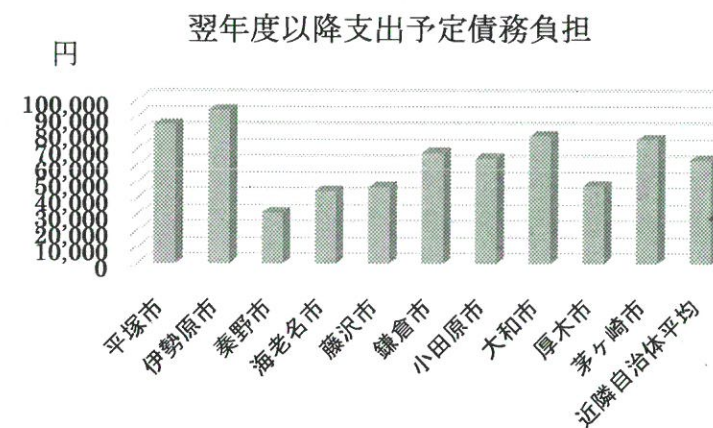
	平塚市	伊勢原市	秦野市	海老名市	藤沢市	鎌倉市	小田原市	大和市	厚木市	茅ヶ崎市	近隣自治体平均
H27年1月1日人口	258,076	101,039	168,732	129,443	420,343	173,223	195,958	232,236	225,020	237,418	214,149
積立金現在高	47,995	13,714	26,216	38,273	48,650	42,222	42,251	31,937	19,726	32,954	34,394
財政調整基金現在高	24,380	8,129	19,798	19,595	21,962	19,688	23,593	25,383	12,854	22,357	19,774
地方債現在高	206,390	267,648	195,669	197,858	168,310	236,429	256,903	204,930	219,794	206,598	216,053
翌年度以降支出予定債務負担	84,932	93,721	30,956	44,179	46,617	67,693	64,300	77,955	47,335	75,683	63,337



借金を返済するための負担度合いの尺度を示す指標に「公債費比率」「公債費負担比率」「実質公債費比率」などがあります。公債費比率は10%を超えないことが望ましく、平塚市は6.2%。公債費負担比率は15%で「警戒ライン」、20%は「危険ライン」、実質公債費比率が18%以上の自治体は起債に当たっては「公債費負担適正化計画」の策定が義務付けられ、起債発効には総務省の許可が必要になります。H26年度において、平塚市はそうした心配は全く見られません。

公債費の比較

小田原市	9.7
伊勢原市	9.3
厚木市	9.2
秦野市	8.5
鎌倉市	8.2
茅ヶ崎市	7.2
藤沢市	6.5
平塚市	6.2
大和市	6.1
海老名市	6.1
平均	7.7



単位：％、

	平塚市	伊勢原市	秦野市	海老名市	藤沢市	鎌倉市	小田原市	大和市	厚木市	茅ヶ崎市	平均
経常収支比率	93.6	94.6	93.9	94.9	92.6	93.8	90.8	94.4	94.2	98.4	94.12
財政力指数	0.96	0.95	0.90	0.99	1.03	1.01	0.95	0.95	1.08	0.93	0.98
実質収支比率	7.7	5.2	8.1	2.3	5.6	6.2	9.8	8.1	5.5	4.7	6.32
公債費負担比率	8.6	12.6	11.4	9.4	8.8	11.0	13.5	9.2	13.1	10.4	10.80
実質公債費比率	2.3	4.9	3.5	0.7	2.2	-0.6	6.9	2.0	2.5	0.4	2.48